

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

救急救命士による病院前輸液の有用性について

【目的】

横浜市では心肺停止前の重症患者さんに対し、医師の指示のもとで救急救命士が静脈路確保を実施しております。実施された静脈路確保の現状と予後に与える影響を評価することを目的とします。

【対象】

2016年6月から2017年5月までに、当院救急救命センターにショックプロトコルを適応されて救急搬送された15歳以上の方

【方法】

診療記録より下記の情報を当院研究担当医師が作成したデータベースに入力し集計します。集計結果は当院内で管理・保管され、日本救急医学会など関連する学会で公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、病院到着までの輸液量、血圧、脈拍数、血中乳酸値 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2018年3月31日まで

【研究組織】

研究責任者：横浜市立市民病院 救急総合診療科 本澤 大志
横浜市立市民病院 救急総合診療科内で実施

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 救急総合診療科 本澤 大志

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。